



ガイド

南京は新型コロナウイルス感染拡大防止への取り組みが進む  
記念館スタッフがPCR検査ボランティアに参加

ご挨拶

読者の皆さまへ：

7月末から、南京が新型コロナウイルスと戦ってきました。7月29日現在までに、全市範囲で3回のPCR検査が行われ、当館の一部の施設はPCR検査点として緊急設置され、館員たちは皆、PCR検査のボランティア活動に参加した。

南京の様子については今回のスペシャル報道をご覧ください。

ヘッドラインニュース

新型コロナウイルス感染の経緯と拡大防止への取り組み

7月20日、南京禄口国際空港の定期的なPCR検査で、空港関係者の新型コロナウイルス感染が確認されたことがわかり、南京市政府は迅速に関係者に対する隔離措置を取った。その後、江蘇省を始め、南京市そして所轄区の予防管理指揮部は、空港関係者全員への追跡調査、隔離措置、PCR検査などをすみやかに行った。

7月21日、南京市新型コロナウイルス予防管理指揮部(以下「指揮部」と略す)は一連の通告を出し、市民に不要不急の外出をやめ、密を控え、個人の防護措置を厳格に実行するよう呼びかけた。それとともに、全市範囲での一回目のPCR検査が行われる。また、毎日の常態化予防管理を強化、感染リスクの高い地域に地下鉄などの交通機関を止めるなどの緊急措置を取った。

7月22日、江蘇省に所属する衛生健康委員会らの組織が、南京市のPCR検査への支援を表明。

7月23日、指揮部の通告により、7月10日以来南京空港を経由で戻った市民は、必ず居住地のコミュニティ組織に報告し、そしてリスク評価とPCR検査を受け、健康管理と経過観察を厳格に実行することが求められる。

7月24日、指揮部の通告により、翌日午前7時から、市内の各高速道路および一般道路に計68カ所の「検問所」を設置し、車で南京から離れる人々に対するPCR陰性証明書と健康コードの提供が義務付けられた。

7月25日、指揮部の指令により、当日午前11時から、市内全員への二回目のPCR検査が行った。

7月26日、指揮部の交通管理課からの通告により、翌日0時から南京市内の8つの長距離バスターミナルの運営を中止した。全市のタクシー(ネット予約車を含む)は南京から出ることを禁じられた。

7月27日、指揮部の通告により、全市の映画館などの室内施設の営業が停止、塾はオフライン授業が中止した。また、掃除業、警備業を対象に予防管理を強化した。

7月28日、指揮部の通告により、全市で3回目のPCR検査が行われた。

コロナウイルスの感染が続く中、市民の生活が続いている。各野菜売り場やスーパーマーケットには、商品の在庫が十分あり、市民も一致団結してコロナウイルスと戦い、南京を早く常態に戻すことを期待している。



7月21日の夜、大勢の市民はPCR検査を受けていた



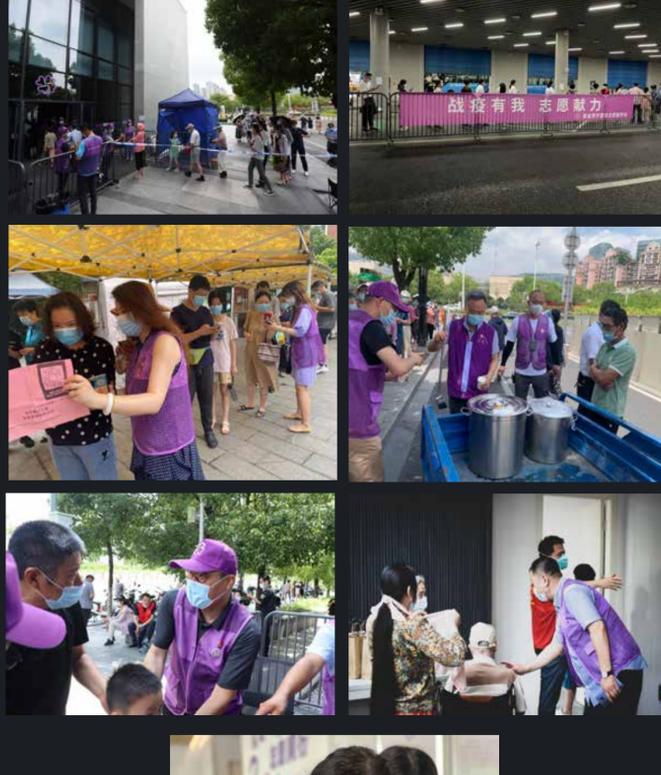
記念館の動き

記念館スタッフがPCR検査ボランティアに参加

7月21日、南京政府は記者会見を開き、南京空港で発見された新型コロナウイルス感染状況を通報、全員へのPCR検査を行うことを知らせた。

当館張建軍館長は、「館はコミュニティの一部であり、スタッフはコミュニティが組織するPCR検査の仕事に加勢するよう」と動員した。スタッフ全員がそれに応じて、コミュニティと共にPCR検査用施設を緊急設置し、「紫金草ボランティア」として24時間体制で働いた。

その後、紫金草ボランティア92人がグループに分け、交代で周辺の3つのPCR検査施設へ支援を送り、全力で役割を全うする。



女性職員と男性職員がそれぞれPCR検査の日勤と夜勤を担当



7月29日、三回目のPCR検査が実施され、8月2日からは四回目。戦いが終わらない限り、スタッフが責任を負いながら頑張らなければならない。みんなが力を合わせて、必ず南京の日常生活を取り戻せると信じる。